

25A

走れメロス (1)

氏名

組

番

得点

50

1 次の——線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

(各2点×10)

- (1) ジャアクな心をもつ悪魔の話。
- (2) 勇気がワ|いてくる。
- (3) 要請をシヨウダクする。
- (4) 有名作家のシヨウガイをたどる。
- (5) 木に結ばれたナワをほどく。
- (6) 子供の虐待を未然に防ぐ。
- (7) 花嫁衣装を着る。
- (8) 拳を振り上げる。
- (9) 日照りが続いたので雨乞いをする。
- (10) 川が氾濫する。

(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2 次の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

(各5点×2)

- (1) はばかり
 - ア 遠慮する
 - イ いばる
 - ウ 見回す
 - エ へりくだる
- (2) いきり立つ
 - ア 強く見せようとする
 - イ 筋の通らないことに不満をもつ
 - ウ 短所を指摘されてむきになる
 - エ 激しく怒って興奮する

(2)	(1)

3 次の□に入る語句として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

(各5点×4)

- (1) 自分の勘違いに気づいて□。
 - (2) つまらない自慢をする人を鼻の先で□。
 - (3) 思惑通りに事が運んで□。
 - (4) 彼女は、馴で目が合うといつもかすかに□。
- ア ほくそ笑む イ ほほ笑む
 ウ 苦笑する エ せせら笑う

(4)	(3)	(2)	(1)

25_B

走れメロス (1)

氏 名

組 番

得 点

50

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① メロスは単純な男であった。買い物物を背負ったままで、のそのそ王城に入っていた。たちまち彼は、巡邏じゆんらの警吏に捕縛された。調べられて、メロスの懐中からは短剣が出てきたので、騒ぎが大きくなってしまった。メロスは王の前に引き出された。

「この短刀で何をするつもりであったか。言え！」
暴君ディオニスは静かに、けれども威厳をもって問い詰めた。その王の顔は蒼白そうはくで、眉間のしわは刻み込まれたように深かった。

② 「町を暴君の手から救うのだ。」とメロスは、悪びれずに答えた。

③ 「おまえがか？」王は、憫笑びんせうした。「しかたのないやつじゃ。おまえなどには、わしの孤独の心がわからぬ。」

「言うな！」とメロスは、いきり立って反駁はんぱくした。
「人の心を疑うのは、最も恥すべき悪徳だ。王は、民の忠誠をさえ疑っておられる。」

「」のが正当の心構えなのだ、わしに教えてくれたのは、おまえたちだ。人の心は、あてにならない。人間は、もともと私欲の塊さ。信じては、ならぬ。」暴君は落ち着いてつぶやき、ほっとため息をついた。「わしだって、平和を望んでいるのだが。」

「何のための平和だ。自分の地位を守るためか。」今度はメロスが嘲笑した。

「罪のない人を殺して、何が平和だ。」
「黙れ。」王は、さっと顔を上げて報いた。「口では、どんな清らかなことでも言える。わしには、人の知らわたの奥底が見え透いてならぬ。おまえたって、今にはりつけになってから、泣いてわびたって聞かぬぞ。」

④ 「ああ、王は利口だ。うぬぼれているがよい。私は、ちゃんと死ぬる覚悟でいるのに。命乞いなど決してしない。ただ、——」と言いかけて、メロスは足元に視線を落とし、瞬時しゆんじためらい、「ただ、私に情けをかけたつもりなら、処刑までに三日間の日限を与

えてください。たった一人の妹に、亭主を持たせてやりたいのです。三日のうちに、私は村で結婚式を挙げさせ、必ず、ここへ帰ってきます。」

「ばかな。」と暴君は、しゃがれた声で低く笑った。
⑤ 「とんでもないうそを言うわい。逃がした小鳥が帰ってくるというのか。」 (太宰治『走れメロス』)

問一 —— 線①「メロスは単純な男であった」とありますが、王城に入っていたことの他に、メロスの単純さがわかる一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。(10点)

問二 —— 線②「町を暴君の手から救うのだ」とありますが、メロスが王に怒りを感じているのはなぜですか。(10点)

問三 —— 線③「おまえがか？」に込められた王の気持ちを次のうちから選び、記号で答えなさい。(10点)

ア 嘲り イ 憎しみ
ウ 感嘆 エ いらだち

--

問四 に入る言葉を文中から二字で書き抜きなさい。(5点)

問五 —— 線④「うぬぼれているがよい」とありますが、王のどんなところを「うぬぼれている」と言っているのですか。(10点)

問六 —— 線⑤「逃がした小鳥」は何(誰)をたえていますか。(5点)

26A

走れメロス (2)

氏名

組

番

得点

50

1 次の——線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

(各2点×10)

- (1) 夜空の星をアオぐ。
- (2) ヒレツなやり方を非難する。
- (3) 美術館でラタイの彫刻を見る。
- (4) めざましい発展を上げる。
- (5) ドアに指をハサまないように注意する。
- (6) 何もできずに傍観する。
- (7) ボールを蹴る。
- (8) 醜い姿をさらす。
- (9) 立ち向かおうという気力が萎える。
- (10) 消費者を欺く広告を取り締まる。

(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2 次の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

(各5点×2)

- (1) 立ちすくむ
 - ア 立って周囲を見回す
 - イ 立ちほだかって道を遮る
 - ウ 立ったまま動けなくなる
 - エ 地面を踏みしめて立つ
- (2) 思うつぼ
 - ア ものを考える立場
 - イ もくろんだ通りになること
 - ウ 悪事を計画すること
 - エ 悪だくみが成功すること

(2)	(1)

3 次の□に入る語句として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

(各5点×4)

- (1) 乗客が誰もいなくなり、バスを□にした気分だ。
 - (2) 校則の改正を訴えたが、結局は□に終わった。
 - (3) 試合は、全ての得点にからんだ彼の□だった。
 - (4) きちんと確認もせずに□して失敗した。
- ア 独り合点 がてん イ 独り占め
- ウ 独り相撲 ずもっ エ 独り舞台

(4)	(3)	(2)	(1)

